
2016 年 7 月 25 日

岡山大学広報誌「いちよう並木」No.81 に弊社社長が紹介されました

この度、岡山大学広報誌「いちよう並木」No.81 卒業生紹介のページに、弊社社長が紹介されました。水硫化ソーダ事業についても記載されています。ぜひご一読ください。

添付資料

岡山大学広報誌「いちよう並木」No.81 記事ページ抜粋

ご参考 岡山大学公式ウェブサイト「広報誌いちよう並木」

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/kohoshi.html>

無機硫黄化合物を強みに 高付加価値の製品づくり



▲ナガオ株式会社で扱う主力製品。新たに開発した硫化ソーダ（左から3つ目）は、従来品よりも鉄分を約20分の1に減らしたことで、さまざまな分野からの需要増が期待できる。

■ナガオ株式会社

所在地：岡山市北区京橋

事業内容：化学品製造販売及び商社活動

水硫化ソーダ・硫化ソーダなどの無機硫黄化合物を製造する水硫黄事業部門、化学品の商社活動を行う商品物流部門を中心とする化学品メーカー兼商社。1931年創業、57年設立。



ナガオ株式会社 代表取締役社長

岡山大学環境理工学部環境物質工学科卒業・大学院自然科学研究科修士課程修了

長尾 聡一郎 氏

NAGAO Soichiro

無機硫黄化合物の水硫化ソーダと硫化ソーダで国内シェア7割を占める最大手のナガオ株式会社。代表取締役社長を務めるのは、岡山大学OBの長尾聡一郎さんだ。

長尾さんは環境理工学部と大学院自然科学研究科で計6年間学んだ。学部4年次からゼオライトなどの無機化合物の合成と光触媒性能の評価の研究に取り組み中、何かを発見したり、創り出したりしたいとの思いを強くし、大学院に進学。光触媒を使って水から水素を取り出すことを最終目標に掲げ、研究室メンバーとともに研究漬けの日々を送った。

大学・大学院での研究生活で身につけた「自分で考える力」が、今に大きく生きていると振り返る。「データや結果を鵜呑みせず、多面的に得た情報をつなぎ合わせ、本当に正しいかを検証する心構えを学んだ」と長尾さん。社長として会社の経営全般をまとめるとともに、時間の許す限り生産や営業の現場へと足を運ぶ。「机にいるだけでは現場で何が起きているのか分かりづらい。最も状況を知っている第一線の社員からも直接聞き取ることが大切」と語る。

幼少期から科学に興味津々で、小学4年生のころの夢は「科学者」。実家には科学系の雑誌や図鑑などがあり、写真や図などに見入っていたという。特に記憶に残っているのが、ニュートリノの観測施設「カミオカンデ」の写真。「こんなすごい装置で宇宙を調べているのか」と胸をときめかせた。

硫化ソーダは、自動車部品などに用いられる高機能プラスチックや医薬品の基

礎原料となり、電池材料や農業の原料としても使われるなど幅広い用途を持つ。一方、腐食性が高く、不純物の鉄分を含む。取引先から鉄分の含有量を減らしてほしいとの要望を受け、2015年末、従来品よりも鉄分を約20分の1に減らした新製品を開発。この開発途中に入社し、原料の厳格な選定、生産設備の構造、材質の見直しなど試行錯誤を重ねたこともあり、製品への思い入れはひとしおだ。

「鉄分を大幅に減らしたことで、高い絶縁性が求められる電子材料や、透明性が必要な眼鏡用の光学レンズ材料といった分野からの需要増が期待できる」と強調。今後も顧客のさまざまな要望に応えられるような付加価値の高い製品づくりを進め、知名度のさらなる向上と国内外での販路拡大に力を注ぐ。



▲学部生の頃の長尾さん（後列右から2人目）。卒業式当日に研究室メンバーと

1980年、岡山県出身。岡山大学環境理工学部環境物質工学科卒業、同大学院自然科学研究科修士課程修了。2005年に住友化学株式会社に入社し、大阪工場経理担当や東京本社化成成品事業部で従事。2013年、ナガオ株式会社に入社、取締役、専務取締役を歴任し、2016年2月より現職。